

美白ケアは「終わりが見えない」「どのくらい続ければよいか分からない」

「何を選べばよいか分からない」

それでも約 9 割が美白化粧品を使い続ける理由とは？

美白化粧品ユーザー1,030 人に聞いた「美白ケア意識調査」

株式会社ファンケルは、美白化粧品を日常的に使用している 20 代から 60 代の女性 1,030 人を対象に、美白ケアに関する意識調査を実施しました。調査の結果、美白ケアに対して終わりや効果を判断するタイミング、商品選びなどに多くの方が迷っている実態が明らかとなりました。一方で、効果をはっきり実感できなくても美白化粧品を使い続けたいという方も約 9 割いることが分かり、効果の分かりにくさを感じながらも、美白化粧品を使い続けたいという実態が浮かび上がりました。

【調査結果トピックス】

■ 8 割以上が、美白ケアに対して「終わり」・「効果判断のタイミング」・「商品選び」に迷い

85.4%が「美白ケアは終わりが無い」と回答。さらに、効果判断や商品選びについても 8 割以上が分からないと回答し、多くの女性が美白ケアに迷いを抱えていることが明らかに。

■ 約 9 割が「何もしないよりは、美白化粧品を使っていた方が安心」

90.7%が「何もしないよりは、美白化粧品を使っていた方が安心」と回答。「効果をはっきり実感できなくても、使い続けたい」も 85.3%となり、効果に確信を持ちにくい一方で、美白化粧品を使い続けることで安心できるという美容意識も。

■ 美白化粧品の使用目的は、「シミを消す」ことより「新しいシミを増やさないこと」

「新しいシミを増やしたくない」が 62.4%、「今あるシミをこれ以上濃くしたくない」が 54.0%と続き、今あるシミの改善よりも、将来のシミ予防や肌状態を維持できる先回りケアを求めている。

■ メラニンはほぼ全員が認知。一方で、役割まで理解している方は 4 人に 1 人

シミの原因で知られるメラニンはほぼ全員に認知されるも、本来の役割への理解は限定的。認知の高さに対し、肌の仕組みへの理解に大きなギャップ。

【調査名】美白化粧品ユーザー意識調査

【調査期間】2026 年 9 月 4 日から 6 日

【調査回答者】美白化粧品を日常的に使用している 20 代から 60 代の女性 1,030 人(各年代 206 人)

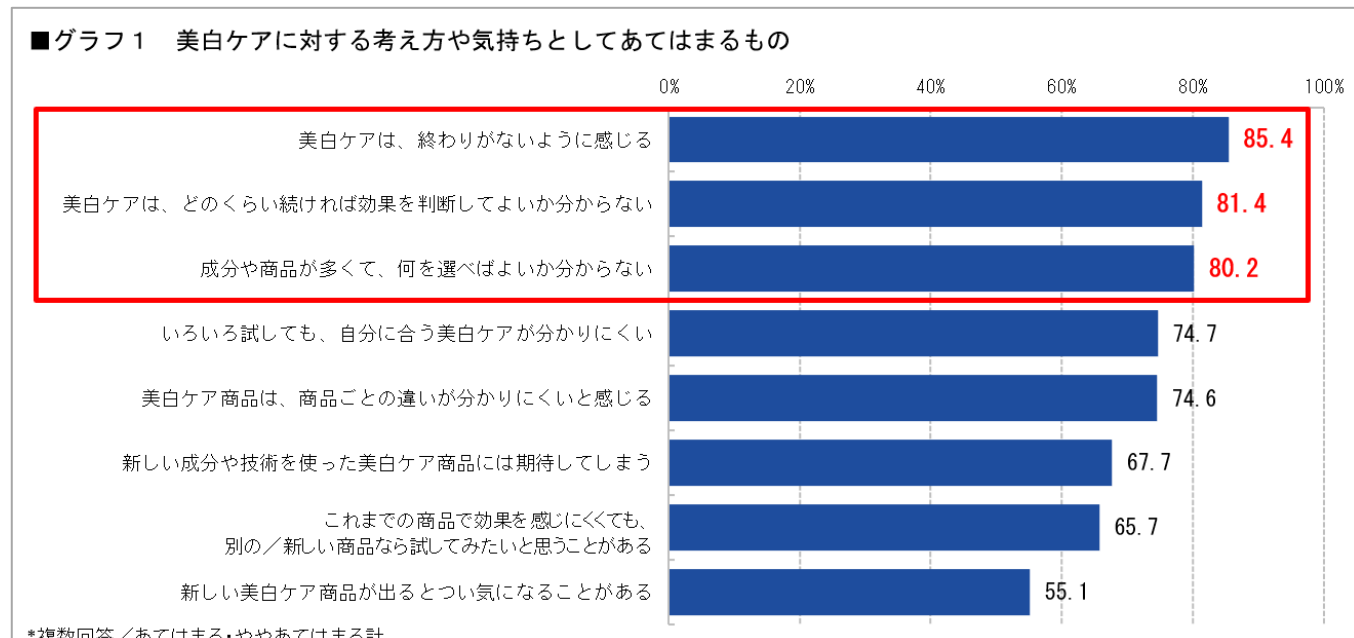
【調査対象地域】全国

【調査方法】インターネット(協力:株式会社マクロミル)

【調査結果詳細】

■ 8割以上が、美白ケアに対して「終わり」・「効果判断のタイミング」・「商品選び」に迷い

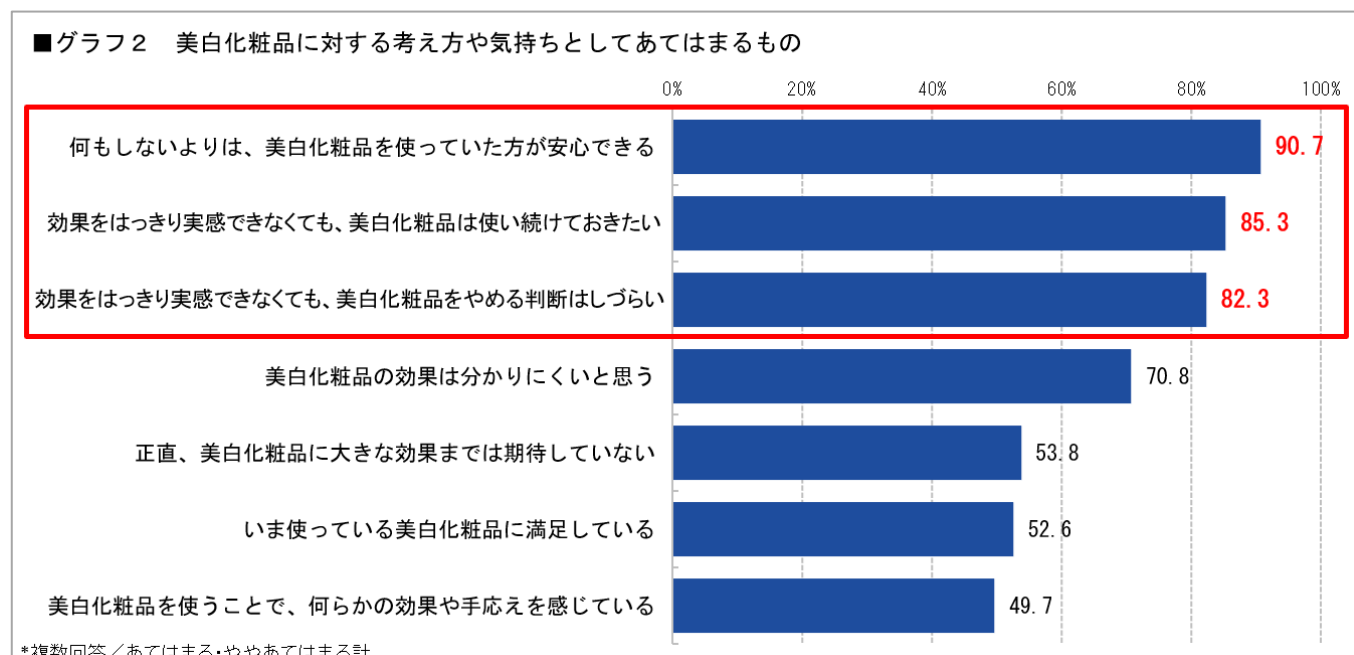
美白ケアに対する考え方や気持ちについては、「美白ケアは、終わりがないように感じる」が 85.4%と最も多く、続いて「どのくらい続ければ効果を判断してよいか分からない」81.4%、「成分や商品が多くて、何を選べばよいか分からない」80.2%という結果となりました(グラフ 1)。



これらの結果から、多くの方が「終わりの見えなさ」や、「効果判断のタイミング」、「商品選び」に迷いを抱えている実態がうかがえます。

■ 約 9 割が「何もしないよりは、美白化粧品を使っていた方が安心」

美白化粧品に対する考え方や気持ちについて、最も多かったのは、「何もしないよりは、美白化粧品を使っていた方が安心できる」90.7%でした。また、「効果をはっきり実感できなくても、美白化粧品は使い続けておきたい」は 85.3%、「効果をはっきり実感できなくても、美白化粧品をやめる判断はしづらい」が 82.3%という結果となりました(グラフ 2)。

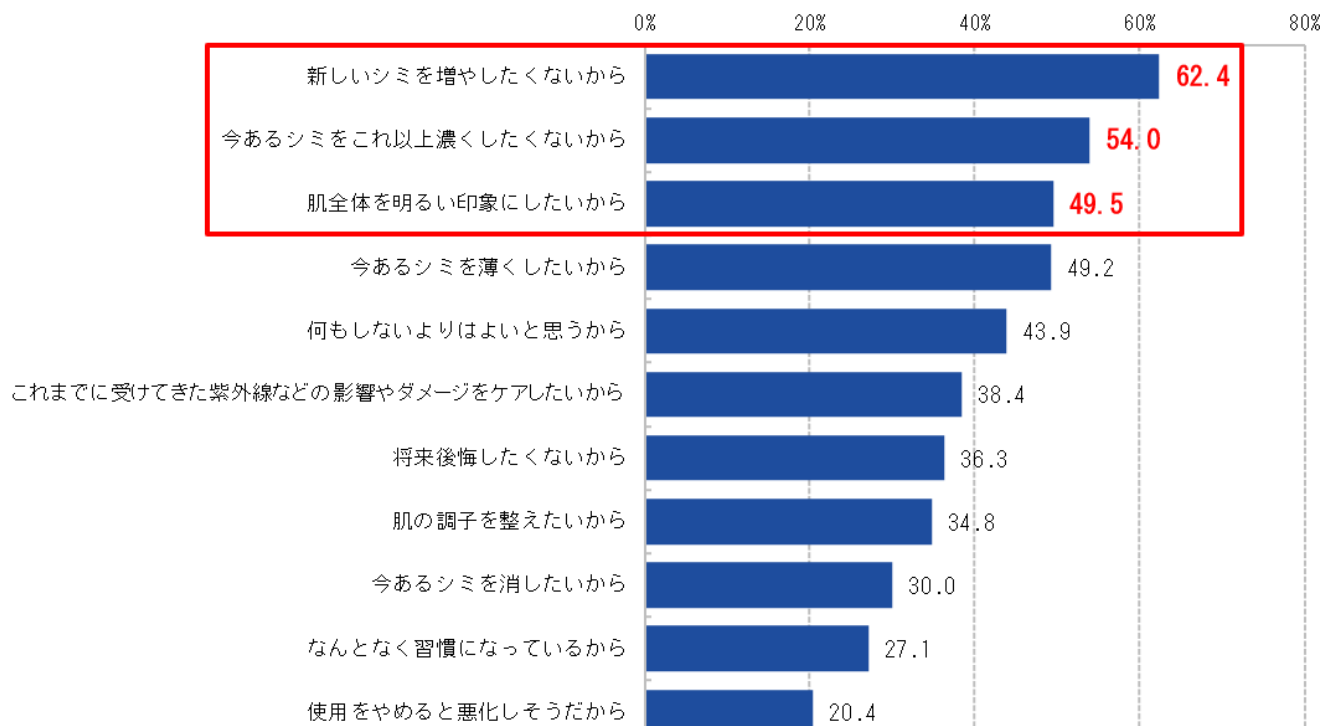


美白化粧品使用者の多くが、明確な効果実感が得られなくても、使い続けたいと考えていることが明らかになりました。

■ 美白化粧品の使用目的は、「シミを消す」ことより「新しいシミを増やさないこと」

美白化粧品を使用している理由は、「新しいシミを増やしたくないから」が 62.4%で最も多く、次いで「今あるシミをこれ以上濃くしたくないから」54.0%、「肌全体を明るい印象にしたいから」49.5%でした(グラフ 3)。

■グラフ 3 美白化粧品を現在使っている理由としてあてはまるもの



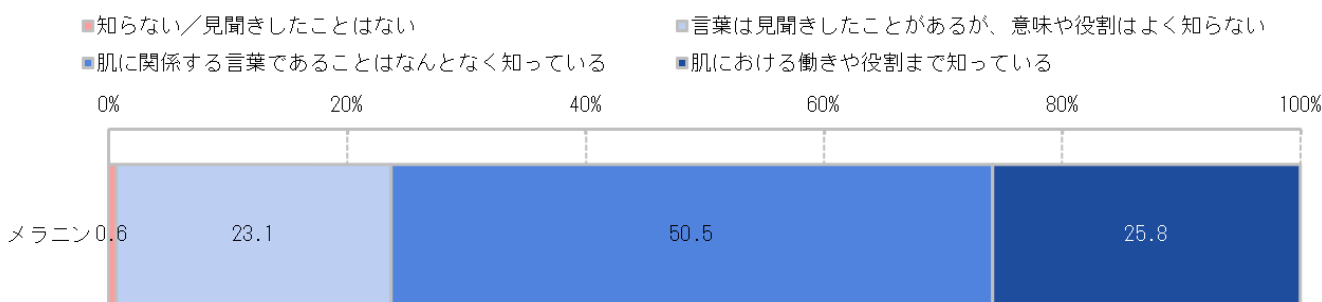
*複数回答/あてはまる・ややあてはまる計

美白化粧品に明確な効果実感が得られなくても、今の肌状態を維持し、シミやくすみをこれ以上に悪化させたくないという「未来への先回りケア」を求めていることが考えられます。

■ メラニンほぼ全員が認知。一方で、役割まで理解している方は 4 人に 1 人

シミの原因と言われる「メラニン」の認知について聞くと、「知らない/見聞きしたことがない」を除く 99.4%とほぼ全員が認知。一方で、「肌における働きや役割まで知っている」は 25.8%にとどまりました(グラフ 4)。

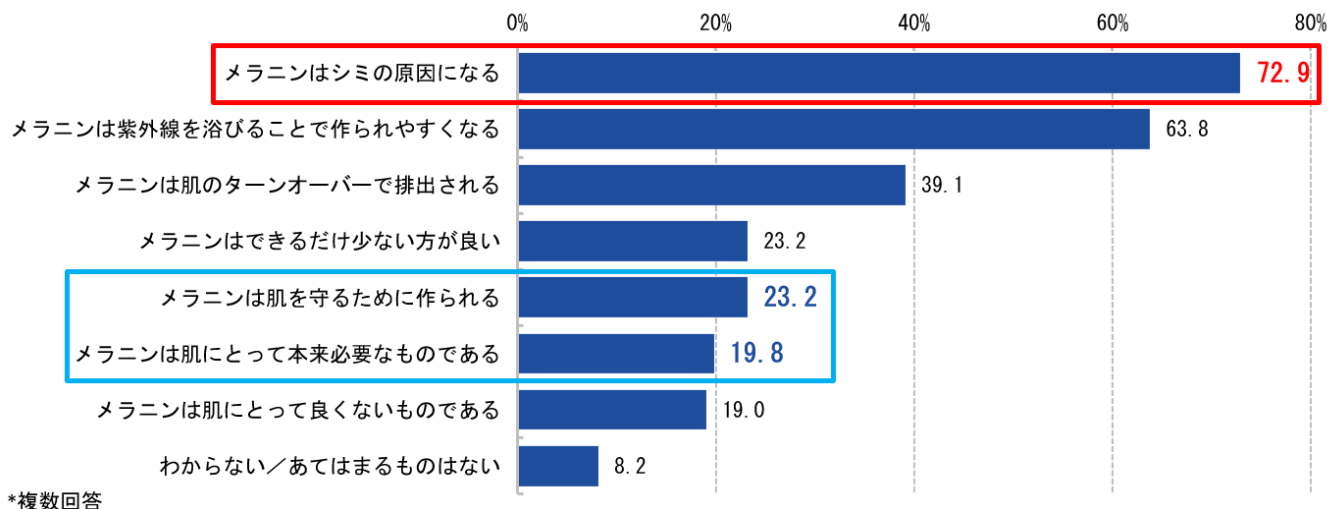
■グラフ 4 「メラニン」についてあてはまるもの



*単一回答

また、メラニンについてあてはまるものを聞くと、「メラニンはシミの原因になる」は 72.9%に対し、「肌を守るために作られる」は 23.2%、「肌にとって本来必要なものである」は 19.8%でした(グラフ 5)。

■ グラフ5 「メラニン」について、あてはまると思うもの



メラニンは、紫外線などの外部の刺激から肌を守るという大切な役割があります。しかし、美白化粧品ユーザーの多くは、メラニンという言葉は知っているものの、その役割まで理解している方は少ないことがうかがえました。

【調査結果を踏まえ当社が提案する美白の「先回りケア」】

今回の調査により、美白化粧品ユーザーの多くが、効果を実感しにくさや商品選びへの迷いを感じながらも、「新しいシミを増やしたくない」という思いから美白ケアを継続している実態が明らかになりました。こうした結果から、ユーザーが美白ケアに求めているのは、今あるシミへの対応だけでなく、これから先のシミを防ぐための備えであることがうかがえます。

当社では、シミの原因となるメラニンが生まれる肌の仕組みに着目し、メラニンを作る細胞であるメラノサイトを健やかに保つ研究を進めています。今後も、美白化粧品に対するユーザーの悩みや意識に寄り添いながら、未来の肌を見据えた美白ケアとして「先回りケア」を提案してまいります。

報道関係者からのお問合せ先

株式会社ファンケル 広報部 / Tel:045-226-1230 official@fancl.co.jp